

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 061	提案機関名 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題名 マサバの沿岸来遊量とマサバ太平洋系群の資源水準との関係の評価	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 登録地域ブランドの松輪サバを筆頭に、本県沿岸漁業においてマサバ資源は非常に重要な位置を占めている。また近年では東京湾の小型機船底引網漁業からのサバ釣漁業への転換・依存もあり、その資源の重要性がさらに高まっている。 マサバ太平洋系群は、従来から沖合漁業の対象資源として、本県を含む一都三県で調査及び資源評価が継続されている。本県沿岸に来遊するマサバは、同系群の産卵後の索餌北上の回遊形態とみられているが、その証明及び系群資源量と沿岸来遊量との関係の定量的評価をお願いする。なお、その関係について定量的に否定する知見がない限り、沿岸漁業が依存する資源として伊豆諸島海域における調査船による十分な資源調査及びそれに基づく系群の資源回復に係る提言の継続を願う。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 資源環境調査 (沿岸域漁況予測調査)			
対応の内容等 本県沿岸に来遊するマサバは、産卵のために伊豆諸島北部海域へ来遊するマサバ太平洋系群の可能性があるため、同海域にて標識放流調査を実施しているところです。マサバ太平洋系群の資源量と沿岸への来遊量及び索餌北上期における海況条件との関係について、引き続き、調査研究を実施します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			